別紙2

三重県 中央会情報連絡員報告総括表　（　令和7年5月

情報連絡員数	40	名	回答者数	40	名	回答率	100.0	%

業界の景気動向（前年同月比）

		売上高			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備操業度			雇用人員			業界の景況		
		増加	不変	減少	増加	不変	減少	上昇	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	悪化	増加	不変	減少	好転	不変	悪化
製造業	食料品	1	2	1	1	3	0	1	3	0	0	3	1	0	3	1	0	3	1	1	3	0	0	4	0	0	2	2
	繊維工業	0	2	1	0	3	0	1	2	0	0	2	1	0	2	1	0	1	2	0	3	0	0	2	1	0	1	2
	木材・木製品	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	2	0	0	1	1	0	1	1	0	1	1
	紙・紙加工品	0	0	1	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0
	印刷	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1
	化学・ゴム																											
	窯業・土石製品	0	3	0	0	3	0	1	2	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0
	鉄鋼・金属	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0
	一般機器	1	0	2	1	1	1	2	1	0	0	3	0	0	0	3	0	3	0	0	0	3	1	2	0	0	1	2
	電気機器	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	1
	輸送機器	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0
	その他																											
	小計	**4**	**9**	**7**	**4**	**14**	**2**	**7**	**12**	**1**	**1**	**16**	**3**	**2**	**10**	**8**	**0**	**16**	**4**	**1**	**12**	**7**	**1**	**15**	**4**	**0**	**11**	**9**
非製造業	卸売業	0	2	0	0	2	0	1	1	0	0	2	0	0	1	1	0	2	0				0	2	0	0	2	0
	小売業	0	5	1	1	5	0	2	3	1	0	5	1	0	4	2	0	4	2				0	6	0	0	4	2
	商店街	0	0	1	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	1	0	1	0				0	1	0	0	0	1
	サービス業	1	2	1				1	3	0	0	4	0	0	3	1	0	3	1				0	4	0	0	3	1
	建設業	1	3	0				0	4	0	0	4	0	0	4	0	0	4	0				0	4	0	0	4	0
	運輸業	0	1	0				1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0				0	1	0	0	1	0
	その他	1	1	0				1	1	0	0	2	0	1	1	0	0	2	0				0	1	1	1	1	0
	小計	**3**	**14**	**3**	**1**	**8**	**0**	**6**	**13**	**1**	**1**	**18**	**1**	**1**	**14**	**5**	**0**	**17**	**3**				**0**	**19**	**1**	**1**	**15**	**4**
合計		**7**	**23**	**10**	**5**	**22**	**2**	**13**	**25**	**2**	**2**	**34**	**4**	**3**	**24**	**13**	**0**	**33**	**7**	**1**	**12**	**7**	**1**	**34**	**5**	**1**	**26**	**13**

最近の主要指標の前年同月比ＤＩの推移

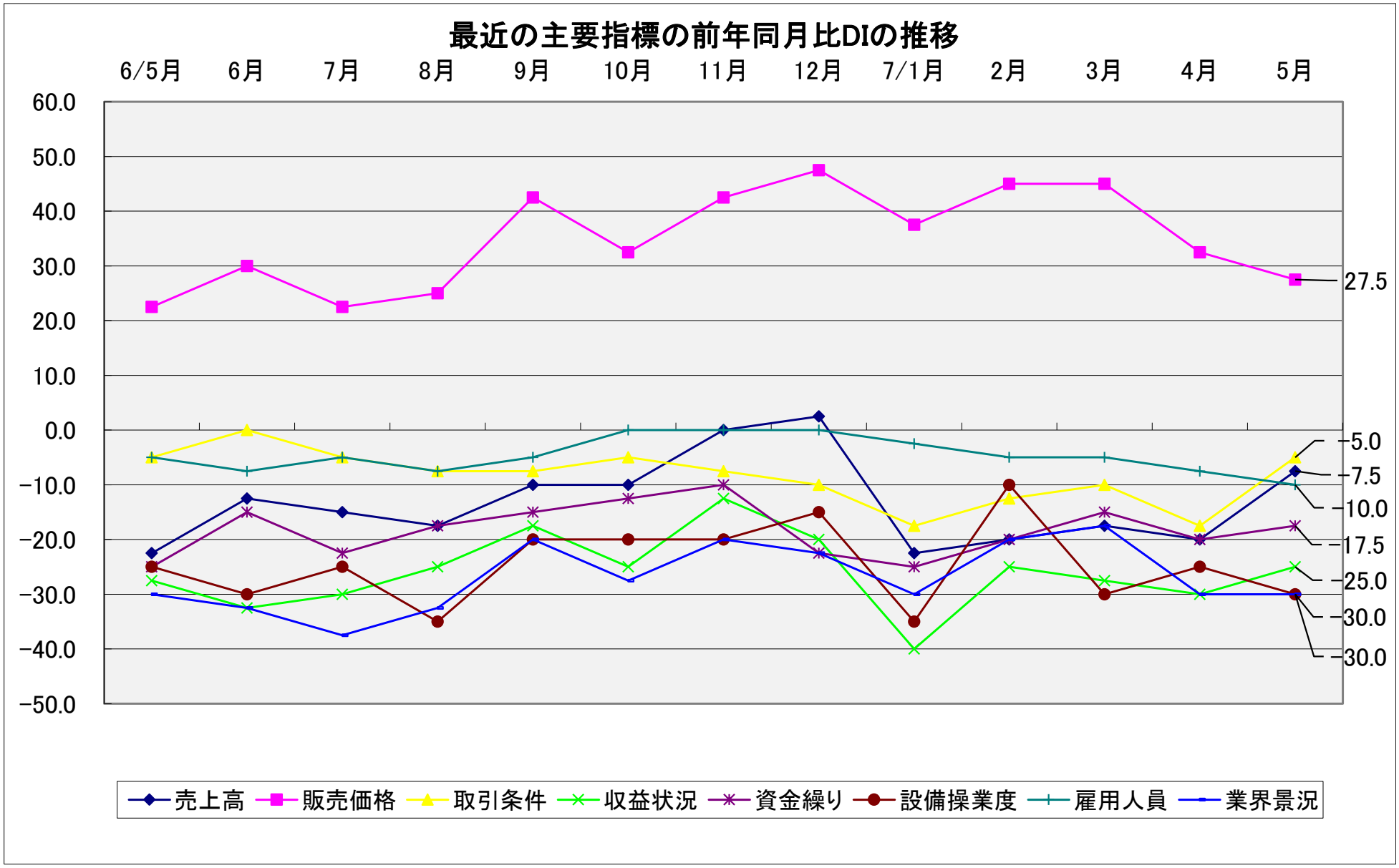
（令和6年5月～令和7年5月）

三重県中小企業団体中央会

連絡員総数　　40 名

	6/5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	7/1月	2月	3月	4月	5月	増減
売上高	-22.5	-12.5	-15.0	-17.5	-10.0	-10.0	0.0	2.5	-22.5	-20.0	-17.5	-20.0	-7.5	12.5
販売価格	22.5	30.0	22.5	25.0	42.5	32.5	42.5	47.5	37.5	45.0	45.0	32.5	27.5	-5.0
取引条件	-5.0	0.0	-5.0	-7.5	-7.5	-5.0	-7.5	-10.0	-17.5	-12.5	-10.0	-17.5	-5.0	12.5
収益状況	-27.5	-32.5	-30.0	-25.0	-17.5	-25.0	-12.5	-20.0	-40.0	-25.0	-27.5	-30.0	-25.0	5.0
資金繰り	-25.0	-15.0	-22.5	-17.5	-15.0	-12.5	-10.0	-22.5	-25.0	-20.0	-15.0	-20.0	-17.5	2.5
設備操業度	-25.0	-30.0	-25.0	-35.0	-20.0	-20.0	-20.0	-15.0	-35.0	-10.0	-30.0	-25.0	-30.0	-5.0
雇用人員	-5.0	-7.5	-5.0	-7.5	-5.0	0.0	0.0	0.0	-2.5	-5.0	-5.0	-7.5	-10.0	-2.5
業界景況	-30.0	-32.5	-37.5	-32.5	-20.0	-27.5	-20.0	-22.5	-30.0	-20.0	-17.5	-30.0	-30.0	0.0

（注１）　「ＤＩ」はディフェージョン・インデックスの略で「増加」・「好転」したとする企業割合から、「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値である。


最近の主要指標の前年同月比DIの推移
6/5月
6月
7月
8月
9月
10月
11月
12月
7/1月
2月
3月
4月
5月
60.0
50.0
40.0
30.0
20.0
10.0
0.0
−10.0
−20.0
−30.0
−40.0
−50.0
27.5
−5.0
−7.5
−10.0
−17.5
−25.0
−30.0
−30.0
売上高
販売価格
取引条件
収益状況
資金繰り
設備操業度
雇用人員
業界景況

別紙３

報告者名　三重県中小企業団体中央会

報告年月　令和7年5月

情報連絡一覧票

	集計上の分類業種	具体的な業種（産業分類細分類相当）	組合等及び組合員の業況等（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）
製造業	食料品	漬物	生産者の高齢化と後継者不足により、一部業者の中では漬物原料野菜の供給不足が続いており、また、ウクライナ戦争の影響及び円安による諸資材の高騰により、特に電気代の値上がりが経営を圧迫する状態が続いている。今年はコメの価格高騰の影響により、コメの消費が減少しており、それにつれて漬物の消費も伸び悩んでいる。また5月8日に津市の勤労者福祉会館において第53回通常総会を開催した。更に6月には中部漬物協会の総会が名古屋市で開催の予定である。
		醤油味噌	ＧＷ前半は飛び石連休で普段の週末とあまり変わらなかったが、後半の４連休は天候にも恵まれて県内の観光地は賑わった。観光地を得意先に持つ事業者は忙しかった。ただし、インバウンドの県内需要は高くない。大手化学メーカーがペットボトル容器事業から撤退、今年12月で生産終了するため、需要家は混乱している。特に耐熱ボトルの置き換え品が無く困っている状態。
		他に分類されない食料品製造業	配送にシルバーセンターから３名採用しているが、今回、止まっている車にバックで当てる自動車事故を起こしてしまった。免許返納を進められている昨今だが、不規則勤務のため、若い人の求人は難しい。これからの季節、工場内での熱中症にも気を配り事故のないよう改めて気を引き締めなければならない。
		製麺	５月28日に組合の総会を開催した。今回は小林弁理士に伊勢うどんの商標について講話を依頼し、改めて伊勢うどんの商標の重要性を学び、組合員の意識も高まったと思われる。参加できなかった組合員にも講話の内容を共有していく。今後、伊勢うどんの認知も上がってくるので、組合としても向上できるよう精進していきたい。
	繊維工業	衣料縫製	物価高により店頭販売が落ち込んでいるので、生産量にも急ブレーキがかかり、仕事量が減ってきている。
	木材・木製品	木材	住宅需要が低迷する中、この時期原木価格は下がる時期だが、人出不足やコスト高を背景に原木価格はほぼ保ち合い、国産材製品の荷動きは低調で人件費や配送料等のコスト高騰で厳しい経営環境が続いている。
		木材チップ	原材料価格が高止まりしているため、原材料確保が課題となっている。従業員の確保も困難である。
	紙・紙加工品	古紙	5月の仕入れ量は段ボール・約94±4%位、新聞、チラシ・約90±5%位、雑誌・雑がみ、その他を合わせて約90±7%位となっている。草木の葉も新緑となりGWの国内需要も関西万博の景気上昇効果も三重県までは影響が少ない感である。それでも当社では通常勤務22日と休日残業2日で月額給与は対前年比5,000円以上の値上げと賞与は前年並み+αを実行し、給与はコロナ前比7%～15%UP程度を行ったが、社会保障費や食費・燃料や電気水道代の上昇は凄まじ過ぎると感じる。業界や組合・株主等の総会も終わり、経営側とすると運賃や手形支払いサイトの短縮もあり、助かりながらも取り扱う古紙の発生激減は更に進みつつあり不安が付き纏う。中部の製紙会社様の古紙発注量6月分も前年比マイナスで古紙問屋の在庫は多めだが、古紙の発生が悪く古紙仕入量が激減する現状で古紙の在庫が更に増えてる状態である。連休中は古紙や金属・古着の持ち去り事例が増え、ゴミの置き去りも廃掃法でなくならず捕まえられず、古紙持去りの効果的な立法化を期待する。
	印刷	印刷	今年も三重県より、三重県民手帳事業の当組合への受託が決定した。今回で12回目（12年連続）となるが、組合員が制作から販売まで一体となって取組み、組合販売による収益確保で組合活動の安定化、また組合員による個々の販売で収益に繋がる事業は、組合活動において有益なものと考える。当月、総会を滞りなく実施できた。今年度は、当組合が70周年を迎えること、6月には8年ぶりに中部地区印刷協議会（三重・愛知・岐阜・石川・富山で構成される）が開かれることを組合員に報告。□
	窯業・土石製品	伊賀焼	日々生産に励んでいる。業界では原材料価格の高騰の折、商品に価格転嫁できるか苦慮している状況である。
	鉄鋼・金属	鍍金	業界の生産額は、総じて堅調な状況である。なかでも自動車関連のうちEV関連の受注が好調である。ただEV関連受注以外の車載リレーや産業用機械リレーなどは停滞している状況である。また、今後は米国の関税引き上げにともない悪影響が出ることも考えられる。

別紙３

報告者名　三重県中小企業団体中央会

報告年月　令和7年5月

情報連絡一覧票

	集計上の分類業種	具体的な業種 （産業分類細分類相当）	組合等及び組合員の業況等（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）
	一般機器	四日市市	業界の動きは相変わらず鈍い、米国との関税の問題による先行きの不安から設備投資を控える雰囲気が出てきている。客先においても様子見として設備投資を延期または中止する状況がみえ始めている。 中小企業の設備投資意欲は低迷しているままで、全体的に好調と言える業界が見当たらない。
		津市	ＧＷ休みもあり、全体的な受注は低いが、一部の得意先だけ受注が多かったため売上は増加となった。ただし、その得意先も自動車部品であるため、トランプ関税の影響がこれからどういうふうに現れてくるのかが読めず、材料の発注に苦慮している。
		伊勢市	状況にあまり変化は無く、相変わらずの低調悪さが続いている。収益状況は悪くなっていて、受注もあまりよくない。特に自動車関連は引き続き悪く、設備関連投資も抑え込まれている。
	電気機器	鳥羽市	状況はなかなか好転せず動きが見れない。70%の稼働であるが、半導体に関しては受注は０に近い状態で苦慮している。
	輸送機器	伊勢市	受注は一般機械器具では若干の増加が見られる。前年比で物量は改善するも、採算面はまだ厳しい。米国トランプの関税政策の影響は依然先行き予測が難しい。賃上げ、金利上昇、企業物価の高止まり等、国内における経営圧迫材料増加に対し、物量・単価面ともにカバーできる状況には至っていない。賃上げも、できれば見送りたいが、採用、離職防止の防衛面で対応せざるを得ず、物量増加による利益状況改善に期待する。
	小売業	青果	(野菜前半)高値が続いていた反動で全体的に値ごろになった。長野産レタスは品質も良くサラダにしても豚肉や鶏肉と一緒に炒めてもおいしくたくさん食べるチャンスである。また、愛知産キャベツ、茨城産きの白菜、愛知・千葉産の大根も生育が良くお買い得になっており、他の葉菜類もお買い得になっている。(野菜後半)安定した入荷で昨年同時期より全体的に取引価格は安い。長崎産ジャガイモが出荷のピークでお買い得に、愛知産キャベツ、長野産のレタス、茨城・愛知産の白菜そろって値下がり、九州産のピーマン、高知産のキュウリ、熊本産・県内産のミニトマト、トマトも入荷が安定しておりお手頃価格である。(果物前半)県内産イチゴは味は少し落ちているが価格はお買い得になっている。気温が上がって劣化が早いため買ったら早く食べるようにしてほしい。静岡産アールスメロン、宮崎産マンゴーは「母の日」の需要で引き合いが強い。(果物後半)県内産イチゴも終盤となりお買い得である。熊本産アンデスメロンが価格も下り甘味もあり食べ頃である。スイカは熊本産の他に愛知産のハウス物も出回り始めてきた。
		自転車	原材料価格高騰の影響で物価上昇傾向は根強く、特に食料品の上昇が目立つ。消費者としては毎日の生活に必要で欠かせないものである。しかし自転車は必需品であっても使えるうちはもう少し乗ってみようと買い控えが目立っている。またここに来て中古自転車の問い合わせが多くなってきた。５月は自転車月間、組合活動としては学校等での自転車安全点検事業をしてボランティア活動を行った。商品の動向としては５月１日注文分より、ブリヂストンサイクル（株）シマノ製パーツ３～20%、チャイルドシートルームは９%、パナソニックリサイクルテック（株）のバッテリーは８～10%に５月21日付より値上げとなり、各ショップは価格改定の店頭発表を行ったところです。
		電器	少しずつ気温が上昇を始め今年エアコンを検討している消費者の話が出始めてきた。ただ今年は気温の寒暖差が大きく夜の冷え込みが起きているため暑さを実感するにはまだまだといったところである。テレビ関連や白物家電全般もゆっくりした動きをとっている。気温上昇と梅雨の時期で主にエアコンなど商品の動きに期待する。

別紙３

報告者名　三重県中小企業団体中央会

報告年月　令和7年5月

情報連絡一覧票

	集計上の分類業種	具体的な業種 （産業分類細分類相当）	組合等及び組合員の業況等（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）
		石油	22日から政府の定額引き下げ措置の補助金がスタートした。マスコミ報道を見ていると、鳴り物入りで始まった新たな補助制度だが、我々SS現場からすると、最初から想定外の始まりとなっている。レギュラーガソリンで見ると5月21日に発表された資源エネルギー庁調査の全国平均価格が１Lあたり182.1円となった。この全国平均価格が起点となって定額引き下げ措置が始まる。事前に想定していた考え方だと、燃料油価格激変緩和対策事業の基準価格だった185円を起点として、そこからレギュラーガソリンの場合は10円の引き下げとなる想定だったが、実際は182.1円から定額引き下げが始まることになった。さらに第１週目（5月22日～28日）からの補助金が当初想定の5円からいきなり7.4円に増額された。原油コストが上昇に転じたことが増額の要因だが、政府は計算上、原油コストが2.4円コストアップしたことを踏まえ、補助金を7.4円に確定した。第2週（5月29日～6月4日）の補助金はガソリン・軽油で2.6となった。第2週にも最大補助金の10円に達する可能性が出てきている。当初の政府の想定では第1週目には5円、その後1円ずつ増額していく見込みだったが、短期間で最大の10円に達することになりそうである。
		スポーツ	大手スポーツメーカーの組合員に対する卸値の掛率が非常に高くなっており、各組合員は苦労をしている。今後の世界情勢等で価格が下がる見込みもなく、各々対策に追われている状況である。
	商店街	熊野市	長年にわたって商店街の独自商品開発や物販事業を営んでいた組合施設が５月末をもって終了した。元々は市の補助事業の自己負担分を補うためにこの施設での収益で運営を続けてきたが、売上の低迷が続いたため、終了に至った。同施設内での商店街運営に関する運営は継続していく予定ではあるが、今後の商店街活動に関しては組合店舗の減少など課題も大きく、問題は山積しているのが現状である。
	サービス業	旅館	個人消費の落込みにより、外出を控え巣ごもり状態が続いているようで、宿泊業、飲食業等については売上が落込み苦戦しているところへ、仕入れコスト、諸経費の高騰が収益を大きく圧迫している。２～３年前のコロナ禍当時よりも厳しい経営環境が続いている。対前年同月比70%、2019年同月比50%程度のようである。
		警備	５月度はいつもながら連休続きで売上が減少している。今年度も発注が少なく、来月以後に期待している。
	建設業	総合工事業	2025年４月の公共工事の県内企業の受注状況は、先月に比べては２５%減となったが前年度同月と比べては60%の増加となった。前年度と比較して増加の主な内訳は、県と市町での発注件数、請負金額の増加によるものとなっている。
		内装工事業	５月は対前年同月比で少しプラスとなった。ただ、物価高による原材料価格の上昇により組合員には末端の下請けということもあり、非常に厳しい現状となっている。

別紙３

報告者名　三重県中小企業団体中央会
報告年月　令和7年5月

情報連絡一覧票

	集計上の分類業種	具体的な業種 （産業分類細分類相当）	組合等及び組合員の業況等（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）
		水道工事業（亀山市）	本年度の組合の活動目標として、亀山市との意見交換がここ数年行われていなかったため、本年度は亀山市との意見交換会を行うことを総会で打ち合わせした。また、熱中症対策の強化が６月１日より施行されるため、対策の勉強会を開催した。

行政庁・中央会に対する要望事項

集計上の分類業種	具体的な業種	行政庁・中央会に対する要望事項、または関心のある事項、意見等
食料品	製麺	今回は小林弁理士の対応をしていただきありがとうございました。少しは組合員の意識が上がったように思います。また次の手を打っていきますのでよろしくお願いいたします。
食料品	他に分類されない食料品製造業	いろいろな助成金があるようだが、なかなか私たちが使えるものを見つけることが難しい。これからも情報をよろしくお願いしたい。
一般機器	四日市市	物価上昇、賃金アップ、人材不足と事業環境は厳しく、業界全体で活況な業種が少ないように感じる。特に大企業での賃上げが進む中、その上昇についていかなくてはいけない中小企業には厳しい状況が続いている。中小企業の今後の経営環境が改善されるよう支援をよろしくお願いしたい。
繊維工業	衣料縫製	米価の値下げ
サービス業	旅館	コロナ禍当時効果のあった地域割等の需要喚起策を早急に実施してもらいたい。また、先行きの不透明感から金融支援についても関係機関に要望してもらいたい。